

Title	語文 第106-107輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2017, 106-107
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70999
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

集 後 記

「語文」は、 編

出原隆俊先生のご退職を記念して、

併号にも、出原先生のご退職を記念して、教えを受けた者たちがまた、三月に刊行される「阪大近代文学研究」第一四・一五合 謝を記させていただきます。 考を並べることができたかと存じます。出原先生にご指導を受け さわしく、明治二〇年代から昭和の戦後にいたるまで、幅広い論 家を中心に、日本近現代文学を幅広く論じ、講じられた先生にふ 学特集としてお届けします。透谷・鷗外・一葉・漱石といった作 た学生・院生を代表して、ここにあらためて、御学恩への深い感

お二人とも早速、研究室に清新な風をもたらしてくださっていま 両先生のご研究のますますのご発展をお祈りします。 が全国に拡がってゆくことには、プラスの面も必ずあるはずです。 されました。大変淋しく残念ですが、大阪大学国語国文学会の縁 じます。 また、勢田道生先生と、山本嘉孝先生が新たに着任されました。 研究室としてはこの間、矢田勉先生と、合山林太郎先生が異動

多くの論考を寄せています。ぜひそちらもご覧いただければと存

今後もしっかりと大事にしていきたいと思います。

いものを前向きに受け入れつつも、変えるべきではないものは、

人は交代し、学問を取り巻く状況も変わりつつあります。新し

語文 第百六・ 百七 輯

大阪大学国語国文学会

平成二十九(三〇一七)年二月二十八日 平成二十九(二〇二七)年二月二十五日

発行 印刷

発編 行集 者・

∓ 560− 8532 大阪府豊中市待兼山町 一一五

大阪大学大学院文学研究科

日本文学·国語学研究室

代表

出原隆俊

振替口座〇〇九四〇一四 ○六一六八五○一五一一一 —二四六四

刷 細 亜印刷株式会社

印